



学校だより No.9

— 12月号 —

2023年11月27日
聖ウルスラ学院英智小・中学校

いよいよ今年も残すところ1ヶ月余りとなりました。先週末から急に寒くなり、雪の気配すら感じられる今日この頃です。今年の冬は暖冬だとの予想もありますが、朝晩のみならず日ごとの寒暖差にも気を付けたいものです。また、インフルエンザについて、本校では少し落ち着いておりますが、まだまだ油断はできません。引き続き予防対策をお願いいたします。

12月、本校では主キリストの降誕を待ち望む「待降節」をととても大切にしています。今年の待降節のテーマ等については右をご覧ください。他者ために祈りながら過ごしましょう。

《12月行事予定》

その他	日	曜	クリスマス関係	光	First	Second	Third
	1	金		-		全校朝礼 授業⑤まで SB15:30	
	2	土		-		児童生徒休業日(小後期入試)	
	3	日		-		待降節第1主日	
9年進級会議	4	月		○			①～⑤T29年新みやぎ模試
	5	火		○		③～7年天文台学習(要弁当)	
	6	水	待降節朝礼	○		5～8年⑥委員会	
	7	木		○		④防災訓練(火災)	
7年進級会議	8	金		○			
	9	土		-			
	10	日		-			
	11	月		○			
	12	火		○			
会議日【午後短縮】	13	水	待降節朝礼 待降節タイム	○		2nd③④暗唱スキット決定戦 ⑥クラブ	
4年進級会議	14	木	献金	○			
	15	金	↓	○		午前授業(言語研) 1stお弁当 2nd3rd給食あり SB13:30	
	16	土		-		7年宿泊説明会 10:00講堂	181進路講演会
	17	日		-			
	18	月		○			
	19	火	③④リハ	○		③④クリスマスお祝い会リハ	
会議日【午後短縮】	20	水	待降節朝礼	○		冬休み前集会(午後) SB15:30	
	21	木	お祝い会	○		クリスマスお祝い会 SB11:30	
	22	金		-			T1自宅学習日
	23	土		-			
	24	日		-		学校閉鎖	
	25	月	主の降誕	-		学校閉鎖	
	26	火		-			T1課外(~28日)
	27	水		-			↓
	28	木		-			
	29	金		-		学校閉鎖	
	30	土		-		学校閉鎖	
	31	日		-		学校閉鎖	

【その他・行事予定に関して】

◇12月

・待降節 テーマ “Imagine. Feel. Take Action!”

「ともに生きること」の尊さに気づき、自分にできることを実行する態度を養うことをねらいとしています。

待降節とは、イエス・キリストの(降)誕を(待)つ期間(英語では ADVENT アドヴェント)クリスマスは、救い主イエス・キリストが私たちのもとにやってくる希望の時です。

カトリック教会では、この期間 **清い心で過ごす** よう心掛け(回心・祈り)、自分のことだけでなく **他人のために生きる** よう(犠牲・愛)、勧めています。

喜びと希望のうちにクリスマスが迎えられるよう、各クラスでのめあて(Action)を決めます。



アドヴェントカレンダー

今年の待降節：12月3日(日)～12月24日(日) (学校では12/4～12/21)

☆クリスマスの集い

待降節朝礼：12月6・13・20日(水)

祈りの集い：(希望者)小学生12月11日(月)15:30～聖堂

(希望者)中高生12月4日(月)16:40～聖堂⇒1号館正門前**点灯式**

クリスマスお祝い会：小・中学校12月21日(木) (SB11:30 発)

☆活動

献金活動：12月14, 15, 16日(木～土) 献金の目安は1食分。金額ではなく何かを我慢して、できる範囲で。

お米活動・フードドライブ活動(任意)：12月14, 15, 16日(木～土)

お米…未開封のもの(玄米可)、フード(お菓子以外の食料品)…賞味期限1か月以上あるもの

※献金、フードドライブについては、後日詳細のプリントを出します。

・セカンド英語暗唱コンテスト

12月13日(水)は各クラス代表によるステージ最優秀賞決定戦です。

◇1月

・冬季休業の日程に変更はありません

12月22日(金)より1月8日(月)までお休みです。1月9日(火)より登校です。

	1月9日(火)	1月10日(水)
1st	①②学活 ③通常授業	育伸社私学テスト2教科
5・7年	①学活 ②③育伸社私学テスト2教科	育伸社私学テスト3教科
6年	①学活、模擬到達度テスト(総合Ⅰ・作文)	模擬到達度テスト(総合Ⅱ・英語)
Ty2, 8年	①②③育伸社私学テスト3教科	育伸社私学テスト2教科
Ty1, Ty2, 9年	①②③通常授業	通常

・中学校入試 注：後期入試について、年度初めにお渡しの予定表から変更されております。

1月5日(金)に前期入試、1月13日(土)に後期入試が行われます。

⇒1/13(土)は児童生徒休業日(内部6年生は到達度テスト)

◇2月

・高校入試に伴う小・中学校の動きについて

高校入試が1/30(火)と2/1(木)に行われます。前後の日も含め小・中学校は登校日の予定となっております。詳細については、決まり次第お知らせいたします。

11月 《聖書のみことば》

「明日のことまで思い悩んではいけない」

(マタイによる福音書 6章34節)

今、この原稿を書いている最中、イスラエルとハマスの紛争が続いています。パレスチナ自治区ガザで最も大きい病院がイスラエル軍に攻撃され、新生児室の赤ちゃんや重病の人が電気や水がなくなってなくなっている、というニュースがテレビから流れています。

私は、今年の8月、聖書の地を巡る勉強のため、イスラエルとパレスチナに行きました。その2か月後に今回の紛争が起きました。見知った地名がニュースで流れるたびに、かの地の穏やかだった風景が思い出され、心が騒ぎます。何もできない自分にもいら立っています。

今月の聖書のことは、有名な「山上の垂訓」の中の一節です。イスラエルの北部、ガリラヤ湖の畔の、イエスさまが山上の説教をした、とされる場所に教会がたっています。私たちのグループはこの山上の垂訓の教会に付属したゲストハウスに4泊しました。小高い丘から目の前にガリラヤ湖がずっと見渡せる場所です。ガリラヤ湖の向こうからのぼる朝日、丘の向こうに沈む夕日、灌漑設備によって咲ききれいな花々、日中は賑やかであろう教会も、朝晩は私たちのグループしかない静けさの中で、朝のミサから始まる生活を送りました。♪ガリラヤの風かおる丘で という聖歌がありますが、まさにその場に今いるのだという喜びのうちに日々を過ごしました。イエスさまの生きた、歩いた場所にいる、という喜び。



山上の垂訓の教会 (2023.8 撮影)

その後、イエスさまが歩かれたところをたどって、私たちもエルサレムに上って行きました。シリアやレバノンの国境近く、ヨルダンの国境近くやパレスチナのヨルダン川西岸地区にも行きました。イスラエルの豊かさに比べて、ヨルダン川西岸地区の貧しさが、初めてここを訪れる私にもわかるほどでした。あちこちに今までの紛争の跡が残っていました。銃弾のあと、兵士が隠れる塹壕のあと、廃墟になった建物。緑豊かなガリラヤ湖周辺に比べて、水が少なくなり、緑がなくなり、砂漠のように荒涼となる景色。

一番驚いたのは羊を飼っている場所です。私はアルプスの少女ハイジに描かれるような緑豊かな場所を想像していたのですが、私が見た、イスラエルで羊が放牧されていたところは、(一部夏の雨が降らない時期のせいもあり)岩だらけで緑もほとんどないような荒野でした。ベドウィンの人々があちこち移動しながら羊の放牧をしていました。日が昇るととても暑く、夜は冷えます。羊飼いの生活の厳しさが伝わってきました。イエスさまの時代の羊飼いの生活は今よりももっと厳しいものだったのでしょうか。周りの社会から認められていないものだったのかもしれません。その羊飼いに神さまは真っ先に天使を送り、救い主の誕生を知らせてくださったのですね。

パレスチナの地は、同じ神さまを信じる3つの宗教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)の人々にとってとても大切な場所です。この地に早く平和が訪れることを切に祈っています。

「明日のことまで思い悩んではいけない」先々のことを意味もなく心配ばかりして、毎日のことをおろそかにしてしまう私があります。今月の聖書のことは、そんな私に対する「今日のことに自分でできる最善を尽くし、あとは神様にお任せなさい きっとよいようにしてください」という、イエスさまからの力強い励ましのように感じています。

ほめたたえ

☆第76回 宮城県バドミントン選手権大会(中学新人の部)

女子団体 第1位 個人女子ダブルス 第1位 齊郷友花・三代川由奈
第2位 佐藤もも音・渡部友里乃
個人女子シングルス 第1位 木下結瑛 第2位 富田琴音
個人男子ダブルス 第1位 升吏斗哉・塩谷朱雀
個人男子シングルス 第2位 新田敦史 第3位 平井 隼

☆令和5年度 南小泉中学校区青少年健全育成協議会 いじめ防止標語コンクール

最優秀賞 9年 伊藤 尊 「認め合い 話せる友が 宝物」
優秀賞 6年 杉山美功哉 「ゴミ箱へ いじめの気持ち ポイとな」
5年 岩根美来 「雰囲気は 同調しない 強い意志」

☆令和5年度 仙台市読書感想文コンクール

部会長賞 1年 石居孝基 「ぼくのさみしいよる」(課題)
2年 岩間莉子 「わたしのしあわせさがしにいくよ」(自由)
4年 深谷 怜 「おなかをすかせている子供達」(課題)
4年 早坂利咲 「自分の目でたしかめることの大切さ」(自由)
5年 鈴木姫依 「挑戦」(課題)

☆第71回 県下女子中学生弁論大会 優良賞 8年 星合真菜 「当たり前をみんなに」

☆日本語検定 読売新聞社賞 最優秀賞 8年 高橋愛美

☆JA共済宮城県小・中学校 書道・交通安全ポスターコンクール

書道半紙の部 佳作 6年 富田麗世
奨励作品 2年 藤島 愛
交通安全ポスターの部 奨励作品 1年 福井咲萬

☆宮城県造形教育作品展

入 選 8年 大沼千紗 9年 三浦 優

☆第60回全日本書初大覧会 席書の部出場 8年 大沼千紗

☆高円宮杯第75回全日本中学校英語弁論大会 決勝大会

第5位 9年 嶋崎文乃 (及び ワールド・ファミリー賞受賞)

題 「I Am Greatly Appreciative of the Time You Have Taken to Consider the Words I Have Expressed at This Venue Today」

嶋崎文乃さんは市・県予選そして、決勝予選で入賞し決勝大会進出、そして 全国 第5位 に輝きました。

さらに、決勝大会で「人とのつながり」をテーマに、優秀な弁論を行った生徒 若干名に贈られる「ワールド・ファミリー賞」を、ただ一人受賞しました！

たかまどのみやはい

※ 高円宮杯とは… (公式HPより：詳しくはこちらからご覧ください⇒)

今年で75回目を数える本大会は、数多くの優秀な人材を輩出し、中学生向けのものとしては国内最高レベルのスピーチコンテストです。

本大会が始まったのは、戦後間もない1949年(昭和24年)。大会創始者の鈴木啓正は、戦後日本の立ち直りのために青少年の英語教育が必要であると考え、高松宮殿下を名誉総裁にお迎えして第1回の大会を開きました。1999年(平成11年)より高円宮殿下をお迎えして高円宮杯全日本中学校英語弁論大会となり、現在は高円宮妃殿下を名誉総裁にお迎えしております。

11月に東京で行われる中央大会では、全国から選抜された中学生151名が高円宮杯を目指し、スピーチの腕を競います。



